

親子で楽しめる柏の子育て情報誌

かがやき

ありがとうの感謝をこめて

創刊100号記念号

特集 輝ける柏の幼稚園の歴史

- * こどもってほんとおもしろい
- * 気になる子、どう向き合う?
- * まちがい探しスペシャル

柏私立
幼稚園協会誌
March 20173
No.
100

かがやき No.100 2017.3

発行／柏市私立幼稚園協会 編集制作／株式会社 京葉広告社・株式会社ママザーブラネット
広告のお問い合わせ／株式会社 幼稚園協会誌編集事務局 TEL:04-7166-4411

創刊100号記念

幼稚園協会誌（かがやき）の発行100号達成、おめでとうございます。協会誌の創刊号を拝見させていただきました。寄稿されている皆様の顔ぶれから年月の重みを感じるとともに、協会に対する期待や幼児教育に対する熱い思いが伝わってまいりました。

天利副会長（当時）からの寄稿に「これが続いて長く発行できるか」とありました。昭和57年の創刊号発行から35年を経て100号を迎えたことは、まさに「継続は力なり」を体现しているといえるでしょう。

創刊号から本号に至るまでの間に、幼稚園を取り巻く社会環境は大きく変わりました。女性の社会進出が進み保育に対する需要が高まる中で、幼稚園には、教育だけでなく保育を含めた教育・福祉の総合的な提供者としての役割を積極的に果たしていただけております。

また、待機児童解消のため、幼稚園には預かり保育の実施等により多大な貢献をいたしました。改めて感謝申し上げる必要があります。

29年4月には柏市私立幼稚園協会が設立50周年を迎えると伺いました。

各園が個別の事情を越えて一組まれているのは全国的にみて致団結した形でこのように取り組んでこれまであると聞いております。

これまで半世紀に渡って協会の運営に携わってこられた全ての皆様に、厚く御礼申し上げますとともに、協会及び会員の皆様には、今後とも子ども達の健やかな成長と輝かしい未来のためにご尽力いただけますようお願い申し上げます。

最後に、本誌の発行が200号、300号と続きますことを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

我々は子どもたちのために全力を尽します。この思いはこの協会が設立された50年前から変わっていません。63年前、柏市の誕生とともに二つの幼稚園が柏市に設立されました。その後柏市の成長とともに三十三園の幼児教育施設が生まれ、50年前に子どもたちの幸せ追求のため設立されたのが柏市私立幼稚園協会であり、現在そのすべての認定こども園、幼稚園が加盟しているのが柏市私立幼稚園協会です。早いもので今年創立50周年を迎え、保護者の皆様との絆として発刊した協会誌も100号という記念すべき歴史を重ねてきました。

我々の基本は最適な幼児教育です。お子さんが通っている幼稚園や認定こども園において、信頼をいたしている教育を成立させ、より高めるための協会とご理解ください。

この園で子どもの教育を受けさせたい、「この園に子どもの成長を託したい」という、保護者の方々の思いを実現するため教職員は日々研修を重ねています。すべての力と情熱で努力を子どもたちのために。願いはみな同じです。この目標を実現するために、保護者の皆さんや地域の方々のお力もお借りしながら、社会の変化にも対応し、教育内容を拡充しています。人生の基礎基本を今、養っています。「やはりこの園を選んでよかったです」と、いわれるようになります。

これからも園の取り組みや頑張る先生たちにご期待ください。



200号300号と続くように



すべては子どもたちのために

柏市私立幼稚園 思い出写真館

たなか幼稚園 前理事長 染谷喜雄 【会長任期／昭和57年度～58年度】

柏私立幼稚園協会発足50周年おめでとうございます。私が幼稚園協会にお世話になっていた頃は、流山地区の幼稚園を含めた柏流山幼稚園協会として活動しておりました。

当時は色々と大変な時期ではありましたが、すみれ幼稚園の故山田宏先生、ますお幼稚園の故染谷初雄先生をはじめ色々な先生方と協力し、勉強会等を頻繁に行なっていた事を今でも懐かしく昨日の事のように覚えております。皆様の一層のご活躍をご期待申し上げます。

加賀幼稚園 塚田裕也 【会長任期／昭和59年度～60年度】

理論を軸に実践を力に誓えた会運営を目指した。明日からすぐに役立つ実践技術の研修が重視され、その背後にある大きな方向を示す理論が軽視されがちな傾向を修正して、理論と実践を対等に研修するように試みた。理論から理想を学び、実践は現実を理想に近づける力とした。その後の流れは、幼児教育から理想を忘れ去り、幼児教育を労働政策の現実の渦中に放擲してしまった。幼児教育から理想は消えた。

昭和

- ・柏市私立幼稚園のあゆみ（創立と認可が同じ園は認可年を省く）
- 柏市の歴史

日本の出来事

44年	43年	42年	41年	40年	39年	38年	37年	33年	30年		
<ul style="list-style-type: none"> ・きたかしわ幼稚園創立 ○柏市営総合運動場完成 ○国道16号線開通 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏みどり幼稚園創立 ○十余二工業団地に企業進出 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏こばと幼稚園創立（当時大井幼稚園） 44年度協会会長 鈴木誓一（南柏幼） 	<ul style="list-style-type: none"> ・常盤地区私立幼稚園協会から独立し ○第一次柏市総合計画基本計画 ○沼南町が神奈川県綾瀬町（現綾瀬市）と姉妹都市協定を結ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市私立幼稚園協会を設立 ○柏保健所開所 ○沼南町工業団地造成 	<ul style="list-style-type: none"> ・田中幼稚園創立 ○市役所新庁舎落成 ○市制10周年記念式典挙行 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊四季幼稚園創立 ・柏陽幼稚園創立 ・柏さくら幼稚園創立 ・柏めぐみ幼稚園創立（42年に認可） 	<ul style="list-style-type: none"> ・すみれ幼稚園創立 ○沼南村が沼南町となる ○手賀大橋完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・とみせ幼稚園創立（39年に認可） ・百合園幼稚園創立（当時じゅりゆう幼稚園） ○中央公民館落成 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田幼稚園創立 ○豊四季台団地着工 ○柏電話局開局 	<ul style="list-style-type: none"> ・南柏幼稚園創立（47年に認可） ○上水道が発足 	
	<small>小笠原諸島、日本に復帰</small>				<small>第18回オリンピック大会 東京で開催</small>						

松ヶ崎幼稚園 根本賢二 【会長任期／平成6年度～7年度】

『親睦と交流』を基本に、役員会・幼稚園協会定例会を行いました。研究部は「児童理解と発達課題」を年間テーマとして、部長の水上慶子先生を中心に2年間の研修をしてまいりました。平成6年度・7年度協会会長在任当時は、今でも記憶に残るニュースが多かった事を覚えております。自社さ連立政権・村山富市総理大臣が誕生したのもこの年です。学校週5日制が実施され「ゆとり教育」が始まりました。阪神淡路大震災が起り協会として集めた義援金を柏市に届けました。その年に悲惨な地下鉄サリン事件が起き世間を騒がせました。



くりの木幼稚園 岩崎雅俊 【会長任期／昭和61年度～62年度】

協会員は26園、各園には建学の精神に基づく教育目標があり、幼児教育の質的向上への思いは同じながら、教育方法についての考え方はまちまちな状況にある中で、誰もが納得する研究体制を検討し実施をした結果として、研究紀要が誕生しました。編纂では多くの方にご苦労を掛けました。各界の先生方の協力を得ながら上梓した昭和61・62年の研究紀要を見るにつけ、30年の歳月を経た今も感慨ひとしおであります。



さかいね幼稚園 丹羽信敬 【会長任期／平成8年度～9年度】

会長に就任したときは、30周年という節目の年でした。初代の理事長・園長先生方が建学の精神に基づきそれぞれの幼稚園を設立し、共に研鑽を積む目的で幼稚園協会を創り上げられました。当初は全千葉県の常磐地区の柏、松戸、我孫子、野田、流山、鎌ヶ谷の地域が一つとなりスタートし、柏・流山から現在の柏私立幼稚園協会となりました。

初代の先生方から次世代に移行するときに、設立された頃の思いやご苦労された話を後世に残したいということで記念誌を発行させていただきました。

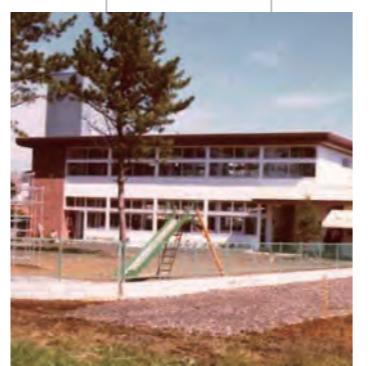
59年 57年 56年 55年 54年 53年 52年 51年 50年 49年 48年 47年 46年 45年

59・60年度協会会長 横田裕也（加賀幼） ○市制30周年記念式典を挙行 ○沼南町制20周年記念式典を挙行	57・58年度協会会長 染谷喜雄（田中幼） ●柏市私立幼稚園協会広報誌第一号創刊	55・56年度協会会長 染谷初雄（ますお幼） ●風早幼稚園創立 ●麗澤幼稚園創立 ○新大利根橋有料道路開通 ○柏駅に中距離電車全面返還 ○沼南町総合運動場（現塙崎運動場）完成 ○増尾城址公園完成	53・晴山幼稚園創立（53年に認可） ●柏ひがし幼稚園創立 ○市立柏高校開校 ○大津ヶ丘団地入居開始 ○町中央公民館オープン ○町営水道給水開始 ○沼南町人口3万人突破	51・52年度協会会長 山田宏（すみれ幼） ●高柳台幼稚園創立 ●にしはら幼稚園創立（51年に認可） ○市民体育館・保健センター完成 ○医療センター診療開始 ○市の人口20万を突破 ○柏市立図書館完成	50年 ●加賀幼稚園創立（53年に認可） ●くりの木幼稚園創立 ●にしはら幼稚園創立（51年に認可） ○市立柏高校開校 ○大津ヶ丘団地入居開始 ○町中央公民館オープン ○町営水道給水開始 ○沼南町人口2万人突破	49・50年度協会会長 鈴木清高（とみせ幼） ●第二ますお幼稚園創立 ○市民憲章制定・市制20周年記念式典を挙行	48年 ●柏駅東口に日本初のWデッキ竣工 ○柏駅東口再開発事業着手 ○沼南町人口2万人突破 ○10月10日、そごう柏店オープン	47年 ●柏駅東口再開発事業着手 ○沼南町人口2万人突破 ○柏駅東口再開発事業着手 ○10月10日、そごう柏店オープン	46年 ●柏まつりの前身「柏商業まつり」スタート ○柏市人口15万人突破	45年 ●45年度協会会長 寺島固二（くるみ幼） ●松ヶ崎幼稚園創立（44年に認可） ○柏市人口15万人突破
---	---	---	--	--	---	--	---	---	--	---



松葉「園庭のシンボル消防車の周りで」 大津ヶ丘「S54年、一日のスタートは全員での朝の体操からでした」

●日中平和友好条約を結ぶ



百合園「S44年、第7回運動会」



日本万国博大阪で開催
沖縄、日本に復帰



柏みどり幼稚園 片岡隆之 【会長任期／平成16年度～18年度】

私が協会長になった年に、柏市で次世代育成支援対策推進事業の取り組みを始めたということもあり、この事業の会議等に積極的に意見、提案をして、私立幼稚園協会の存在意義についての市の認識を高め、協会と市とが協力しあって歩んでいく基盤がつくれたのです。

また、平成18年度から「発達障害者支援体制整備事業」の取り組みもはじまり、この取り組みにも私立幼稚園協会として積極的につかわり、それまで皆無に近かった支援体制=巡回指導や相談機関、研修会等が現在のようにおこなわれることになったのです。



柏幼稚園 吉田隆雄 【会長任期／昭和46年度・平成10年度～13年度】

広報100号おめでとうございます。

千葉県内で最も充実した団体と言われる柏市私立幼稚園協会は、活動を通じて保護者の理解と協力が得られる揺るぎない歩みの努力を続けてきた事が自負できると思います。私は昭和46年度の会長を仰せつかりました。この年の年中組が生まれた昭和44年の柏市の出生者は3,540人で、幼稚園の募集人数を超えておりましたので、幼稚園浪人を出してはならないと、その対策に躍起になりました。



柏こばと幼稚園 渡辺敏行 【会長任期／平成19年度～22年度】

就任当初は、時代や保護者の要請もあり、色々と変革が必要ではと考えていました。平成20年は、世界中が大不況の中、子育ての環境に大きな影響がない心配され、特に行政、議会との連携が大切になっていました。23年3月には東日本大震災があり、仲間の多くが被害を受ける中、我々に何ができるかを模索していました。又、新しい試みとして子育てフェスタの実施を考え、立川のフェスタを見学に行きその後のフェスタ開始に繋がっていました。



ますお幼稚園 染谷宗治 【会長任期／平成14年度～15年度】

当時は、各園の保育実践を持ち寄り6分科会に分かれ毎月幼稚園を会場にして研修会をし、年に4回特別研修会(大会合)を行なって保護者の質の向上を高めていた。涉外関係では、教員研修費20万×27園、子育て支援補助金30万を活用して、京都市子育て支援センターこどもみらい館(私立国立幼保子育て支援総合施設と京都市立5園統合幼稚園)を、今後の柏市の未来を見据えて施設研修した。今後も未来の子ども達の為に努力していきましょう。



19年	18年	17年	16年	14年	10年	8年	7年	6年	4年	2年	平成	64年	63年	61年
-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

• くるみ幼稚園が認定こども園に移行（認定こども園くるみ幼稚園）
19年度～22年度協会会長 渡辺敏行（柏こばと幼）



高柳台「旧園舎」

○「うらぼーと柏の葉」1月22日、グランドオープン

○柏市と沼南町が合併（3月28日）
○南部クリーンセンター稼働開始
○つくばエクスプレス開業「柏の葉キャンパス駅」「柏たなか駅」誕生

・沼南町が柏市に編入、沼南町の幼稚園6園が柏市私立幼稚園協会に加入

16年度～18年度協会会長 片岡隆之（柏みどり幼）
○柏市制50周年記念式典を挙行

14・15年度協会会長 染谷宗治（ますお幼）
○柏市リサイクルプラザオープン

8・9年度協会会長 丹羽信敬（さかいね幼）
○市立砂川美術工芸館オープン
○さわやか県民プラザ開館
○アミュゼ柏オープン

10年度～13年度協会会長 吉田隆雄（柏幼）
○県立東葛テクノプラザオープン

14・15年度協会会長 片岡隆之（柏みどり幼）
○柏市リサイクルプラザオープン

・協会誌「柏私幼協だより」から「かがやき」に改名

○柏市福祉公社開設
○沼南町が「町民憲章」制定、「平和都市宣言」
○福島県只見村、青森県柏村とふるさと交流都市提携に調印
○柏市制40周年記念式典挙行

6・7年度協会会長 根本賢二（松ヶ崎幼）
○あけぼの山農業公園オープ

4・5年度協会会長 杉山敦子（みぐに幼）
○国立がんセンター東病院開院

2・3年度協会会長 小島誠（柏陽幼）
・昭和天皇崩御

・1月8日「平成」に改元された

63・64（平成元年）年度協会会長 鋸木武雄（にしほら幼）

61・62年度協会会長 岩崎雅俊（くりの木幼）



瀬戸大橋開通



くりの木「運動会」



田中「開園当時の写真」



関西国際空港開港
（月1回）
学校週5日制開始



柏こばと（左）現園長（右）初代園長



柏ひがし「発表会 おおきなかぶ」



衆議院・小選挙区比例代表並立制による初めての選挙実施される

新紙幣発行
五千円札（一葉）
千円札（野口英世）

中部国際空港開港
日本国際博覧会（愛知万博）
「愛・地球博」開幕



沼南幼稚園



まだ歯が抜けたことがないS君。下の前歯が動き始めたのを心配していたある日、「僕、歯がグラグラするの嫌なんだよ… あっ、いいアイデア思いついた、絆創膏貼ればいいんだ！」

大津ヶ丘幼稚園



お友達 「黒いのも落ちたんだよ」「フライパン
だよ」

△ちゃん 「カミナリのお座ゃんもグッキー
ン、落ちました」

お友達 「本物のホットケーキ落ちて来ーい」

先生お願い！ 食べたい！

年中の自由遊びから「ハーン」の連発

「ハーン」、「象とイルカ、どっちがいい
か迷うな？」

「僕はドラだよ」、

まつて(行司から)、箱のたたき方(わざ)。
…「ハーン」困った！

年中組 茄話

マラソン後、「今日のマラソン頑張った」とAちゃん。「頑張つてたね」と褒めると、「学校でもマラソン頑張るんだ」と一言。4円は毎日泣いていたAちゃんが既に小学校を見据える姿に成長を感じました。

まだ歯が抜けたことがない

「トモる田主サークル（かたくりの会）があり、メンバーはいすれも〇〇の保護者の方です。昔話なり本堂（福寿院）でしょ、とばかりに意気込んで場を設定しました。地域のお話から選んだ物を、心をこめて語つて下さった後、子ども達に問い合わせがなされました。「何かわからぬことありましたか？」Yちゃん「お話をよくわからなかつた」あります。

【Aちゃん】「カミナリさんかドッシャーン、落ちました」

【お友達】「黒いのも落ちたんだよ」「フライパンだよ】

【Aちゃん】「カミナリのお皿さんもドッシャーン、落ちあもった」

【お友達】「本物のホットケーキ落ちて来ーい」

【先生】「先生お願い！ 食べたい！」

風早幼稚園



園庭で手作りビーエル扇を飛ばしていく
年少組の男の子が「園長先生みてーこの扇の
中にいっぱい素敵なお風を入れてみたよ」とまるで
宝物が入っているかのようにビーエル扇の中を
大事そうに見せてくれました。

「クラスごとにどのくらい大きがら測定をしてよ！体重も増えたを楽しんでいたとかな？」と子どもたちが、体重が増してしまった。すくなつてよかつ

「ここはとにかく身体測定を行った瞬のこと
どのくらい大きくなつたかな」と声を掛けな
がら測定をしていた担任。「2cmも伸びた
よー、体重も増えたねー」と子ども達との会話
を楽しんでいたところ、「先生も大きくなつた
かな?」と子ども達に聞かれ測つてみると、
「わあ、体重が増えている!」と思わず声を出
してしまつた。すると「すじこね、先生も大き
くなつてよかつたね」と先生の成長を心から
喜ぶ子ども達と、苦笑いする担任の微笑まし
い姿がありました。

柏ひがし幼稚園



給食の時間、野菜が苦手な年中組のS君が
キノコを箸でつまみ、何かに気付いた顔をして「(こ)れ河童の手みたい!」突然の発言にみんな
なびっくり。しかしわざと「僕のは大きいから河童の顔かな」と盛り上がり、みんなでぱくっ! 「なんかすっぽいね」「海から来たのかな?」(それだとちょっとぽいかな…笑)苦手な野菜も楽しく食べることができました♪

柏みどり幼稚園



年度はじめ、毎朝泣いて、幼稚園に行きたが
らなかつた年少組の女の子。
「どうして幼稚園に行きたくないの？」
と、おかあさんに訊かれて、
「だって幼稚園にトイレしないんだもん」
(あります)
今では、毎日笑顔で、登園して
くれるようになりました。

園庭の堆肥場の腐葉土を使って、栽培用の
土をつくりつていた年長組の女の子たちが、土
の中に何かを見つ見つ見つ見つ見つ見つ
「ぐるぐるってここのね」
「アンモナイトでしょ、これ」
「化石みつけた！」
「え、化石？　すじ。ちょっと見せて」
「いいよ」
「……ぎやああああああ、動いたあああーーー」
化石だと思ったのは、渦を巻いてあるまつて
いた、ヤステ(＝ムカデに似ているけど、わづ
と小さくて毒のない虫)でした。



第二ますお幼稚園

